
[Virtual Library] ホームページ<http://www.space-library.com>ミルスペースのアーカイブ他 ・[What's New] 新着アップデート
宇宙百科辞典の和訳を第10章に続き、第6章 Access to Space の前半をアップロード。読まれた方のコメント歓迎。

2006.4.14 日刊航空通信 <http://jan.cocolog-nifty.com/>

信頼性確保が今後の課題 / 基盤維持プログラムに期待

栗原MHI宇宙機器部長、H-II Aの展開・課題を語る

ロケットシステム社解散を受け、今年度から本格的にH-IIAロケットによる衛星打上げサービスを展開することになった三菱重工。同サービスを指揮する航空宇宙事業本部 栗原良晴・宇宙機器部長は、「責任の大きさを痛感するとともに、緊張が増している」と今の心境を語る。そして、商用衛星打上げ受注には、連続打上げ成功を示す必要があり、そのために今、信頼性維持基盤作りを行う必要があると、問題点を提起。同社・宇宙開発事業の舵取りを任された、栗原良晴部長に、H-IIAロケットの次の一手を聞いた(鈴木 / 回答は要約)。

Q: 打上げサービス事業を本格展開することになった今の心境は?

H-IIAロケット7号機以来、3機連続成功しているが、今後もこの成功実績を継続させなければならず、責任の大きさを痛感するとともに、緊張が増している状態。今年度中にH-IIAロケット製造責任が当社に移管され、来年度からは打上げ責任を負う打上げサービス契約を履行する予定。民間としての取組みは、当社に任されたものと理解しており、その期待に応えられるよう努力していく。

Q: 打上げサービス事業の現況は?

既存の衛星運用事業者、衛星メーカー、保険会社にプレゼンを行っている他、コンサルを使うなどして新衛星計画を掴んで説明に当たっており、顧客は網羅できている状態だ。プレゼンでは、どのように信頼性向上に取り組んでいるかといった技術的説明も行っており、その対策に高い評価を得ている。こうした結果、知名度は上がり、多くの衛星運用事業者が、打上げロケット候補にH-IIAの名前を載せるようになった。

Q: しかし、未だ初受注に至っていない。コスト競争力が指摘されるが方策は?

「今出来るもの」と「将来行うこと」に分けて、コスト削減の知恵を出し、その実現性を検討している。「今出来るもの」には作業効率化が挙げられ、製造が一元的管理されるようになったので、多少、コストを下げられるだろう。そして「将来行うこと」では、M-Vロケット後継となる中小型ロケットとの部品共通化を図り、量産効果でコストを下げる取組みを検討している。JAXAとも協議を始めており、こうしたコスト削減が実現すれば、商用衛星打上げを受注できると思

う。但し、注意しなければならない。というのは、我々は、打上げ受注の前に、「連続して打上げを成功させる」という大事な使命がある。これを無視し、コスト削減一辺倒になってはならない。

Q: 連続打上げ成功に向け取組んでいることは?

従来技術、製造といった作業毎の信頼性評価の他に、誘導制御系や構造系など各作業を横断的に評価する活動を行って、不具合を洗い出し、信頼性向上を図っている。また、信頼性を確保していくため、現在、インフラ維持と技術力維持を目的とした基盤維持プログラムを国側に提案している。

Q: 基盤維持プログラムとは? 国には既に「信頼性向上プログラム」があるが...

信頼性向上プログラムは、H-IIAロケットの打上げ再開などを果たすため、データ蓄積充実や信頼性強化を進めてきたものだ。今後は、こうして蓄積された各社の技術基盤、製造基盤をしっかりと維持し、わが国の衛星打上げ能力の信頼性を確保することが重要となる。そこで、これを担う「基盤維持プログラム」を来年度から立上げられるよう、国にお願いしているところだ。H-IIAロケットは未だ成長途上のロケットなので、国の継続的支援が必要である。

Q: この他、検討している方策は?

種子島宇宙センタは高緯度にあるため、ここから打上げられる静止衛星は、軌道傾斜角を変更するのに、多くの燃料が必要になってしまう。これは、衛星寿命を短くすることに結びつき、赤道直下に射場を持つアリアンスペース社と比較すると、大きなウィークポイントとなる。そこで、高緯度から打上げても、軌道変換に必要な燃料が少なく済む「スーパーシンクロナス軌道(遠地点高度が約70,000kmの衛星投入軌道)」への打上げを官需衛星で経験し、この弱点を克服したい。その実現に向け、軌道計画専門家を配置し、検討を始めた。この他、国には、打上げ時期の制約の緩和や、安全審査基準見直しを期待する。わが国の衛星への安全審査基準は、JAXA開発衛星を対象にしたものであり、海外実績のある商業衛星に適用するには馴染まない部分がある。今後、更に調整が必要である。

Q: この度、衛星打上げ輸送サービスが消費税の免税対象になった。見解は?

長年、課題とされてきた問題が解決したことで、関係機関の尽力に感謝している。これにより、国内衛星運用事業者に、より魅力的な提案をできるようになった。但し、ビジネスとしては未だ、競合他社とオープンになっただけである。やるべきことは多くある。

Q:総合科学技術会議が、H-IIAロケットなどの宇宙輸送システムを、特に集中投資すべき科学技術(戦略重点科学技術)に選定した。

宇宙開発予算は現在、充実したものであるとは言えない。そこで、この指針に基づく確実な予算措置がなされる事を強く期待している。予算が増えることなく、各プロジェクトで資源を奪合うような事態

は、本来目的から逸脱したものだ。

Q:総括

当社は官需を中心とした安定生産、打上げ連続成功による信頼性向上により、民営化基盤を確立することを基本としている。これを達成するためには、打上げが年間3機以上必要だが、現官需打上げ計画には年間1~3機と変動がある。適正規模の技術者、生産要員を維持するには、この変動リスクを商業衛星打上げ受注で補わなければならない。そこで、上記の「**基盤維持プログラムの立上げ**」、「**多様な衛星投入軌道実証**」、「**打上げ時期の制約や安全基準緩和**」を期待したい。

4月15日 11時28分更新 読売新聞

米国防長官を「信頼し高く評価」...大統領が異例の声明

【ワシントン = 五十嵐文】プッシュ米大統領は14日、退役将官らから辞任要求を突きつけられているラムズフェルド米国防長官について、「全面的に信頼し、高く評価している」と擁護する異例の声明を発表。大統領は「長官が現場指揮官を信頼し、任務遂行のため最善の決断を下すのを直接、見てきた」と強調した。プッシュ政

権では、スノー財務長官更迭も取りざたされているが、大統領は声明を出していない。一方、ラムズフェルド長官は14日、中東の衛星テレビ「アル・アラビア」のインタビューで、「何千人もいる将官の中の2、3人が異議を唱えるたびに辞任していたら、米の国防長官は回転木馬のように変わることになる」と述べ、辞任を否定。

4月14日 18時9分更新 毎日新聞

<米国>国防長官の辞任、退役軍人が相次ぎ要求

マクレラン米大統領報道官は13日、米軍退役将官からラムズフェルド国防長官の辞任要求が相次いでいることについて「大統領は国防長官が米国が困難なこの時期にすばらしい仕事をしていると

思っている」と述べ、辞任論を退けた。政権周辺には「長官を更迭すれば、イラク戦争の失敗を認めることになる」との見方もある。

4月13日 7時1分更新 時事通信

スペースシャトルの経験活用 = 米 NASA 局長 - 初飛行から 25 周年で式典

【ワシントン 12 日時事】米スペースシャトルの初飛行から 25 周年に当たる 12 日、テキサス州のジョンソン宇宙センターで記念式典が

催され、NASA グリフィン局長はあいさつで、シャトル飛行を通じ得た経験を後継機に生かしていく考えを強調。

4月12日 12時58分更新 共同通信

10年以内に月に無人探査機 宇宙機構、試料採取も

宇宙航空研究開発機構の立川敬二理事長は12日記者会見で、10年以内に月に無人探査機を送込むため、プロジェクトチームを設置し検討を始めたことを明らかに。月の起源を探り、試料採取と持帰りも目指す。理事長は「米アポロ計画で探査されたのは月の一部にすぎず、裏側など様子が分かっていない地域も多い」と日本独自の探査計画に意欲を示した。探査機が月表面を移動する

のに必要なロボット技術開発を進める。また、来年度打上げ予定の月周回衛星「セレーネ」で月面を上空から観測し、着陸地点候補地を探すことにしている。月探査は米や欧、中国も積極姿勢を示して激しい競争となりつつあり、理事長は「日本の技術を生かし、独創的探査を行いたい」と話した。

4月11日 21時0分更新 時事通信

欧州の探査機、金星軌道に = 「兄弟惑星」の謎解明へ

【パリ 11 日時事】欧州宇宙機関(ESA、本部パリ)は 11 日、昨年 11 月に打上げた探査機「ビーナス・エクスプレス」が金星周回軌道に乗ったと発表。今後、観測装置点検を行った後、今年 6 月から約 16 カ月間、大気組成やその運動メカニズム、地質など謎の多い

金星の観測を続ける。「明けの明星」、または「宵(よい)の明星」と呼ばれる金星は、大きさが比較的近いことから、地球の兄弟惑星とされる。これまでの調査で、地表温度は約 460 度、大気大半は二酸化炭素であることなどが判明している。

Aerospace Daily & Defense Report Apr 12, 2006

NASA は将来の月探査のアイデアを求める

NASA asks for ideas on future lunar exploration

NASA on April 11 issued a request for information (RFI) asking for ideas on lunar activities that could fit into the agency's plans for revisiting the moon and using it as a springboard for the human exploration of Mars.

The RFI is one of several activities planned by NASA's Exploration Systems mission directorate in 2006 "to gain a better understanding of the role that human and robotic exploration and development of a sustained human presence on the moon plays in supporting a broad exploration strategy that includes Mars and other destinations," the agency said.

Feedback from the RFI and other sources eventually will be incorporated into a "robust, worldwide strategy" for lunar exploration, according to the RFI.

Responses are due May 12. More information can be found at

<http://exploration.nasa.gov>.

Submissions should include ideas that can be achieved within a 25-year time span, NASA said. Possible categories include lunar activities that pave the way for Mars, robotic explorations that enhance human exploration, exploitation of lunar resources, international collaborations, science investigations and lunar commerce activities. NASA Administrator Michael Griffin has characterized NASA's role in exploration as akin to that of the U.S. government when it built the interstate highway system, which subsequently became a vehicle for commerce. The agency's projected budgets will be exhausted simply by getting to the moon, which means subsequent scientific and commercial activities must be undertaken by others, Griffin has said (DAILY, Nov. 2, 2005).

Jefferson Morris (jeff_morris@AviationNow.com)

Aerospace Daily & Defense Report Apr 12, 2006

NASA は 2008 年の Jason-2 海洋観測衛星の打上げ了解

NASA inks agreement for Jason-2 launch in 2008

NASA signed an agreement April 10 with other U.S. and international agencies to cooperate on the launch of the Jason-2 ocean observation satellite in 2008.

NASA is cooperating with the National Oceanic and Atmospheric Administration (NOAA), France's Centre National d'Etudes Spatiales (CNES) and the European Organisation for the Exploitation of Meteorological Satellites (EUMETSAT).

Jason-2 will gather data on ocean circulation and improve climate forecasts and measurements of global sealevel change, NASA says.

The 3-5 year mission will continue ocean topography measurements collected since 1992, first by TOPEX/Poseidon and

now by Jason.

NASA will provide several of Jason-2's science instruments as well as launch on a Boeing Delta II. NOAA will provide ground control facilities and infrastructure for archiving and distributing mission data. CNES will provide a Proteus satellite bus and payload module, as well as several instruments.

EUMETSAT will provide a site and infrastructure for the European Earth terminal.

Aerospace Daily & Defense Report Apr 12, 2006

Cassini-Huygens チームは Aviation Week の賞を受賞

Cassini-Huygens team wins Aviation Week Laurel award

SPACE AWARD: The Cassini-Huygens mission team received an Aerospace Laureate award from the editors of Aviation Week & Space Technology Magazine during a ceremony held at the Smithsonian Air & Space Museum's Udvar-Hazy Center in Dulles, Va., April 7. The Jet Propulsion Laboratory (JPL)-led team won the

award for the successful landing of the European Space Agency's Huygens probe on Saturn's moon Titan in January, and for the science data and imagery from NASA's Cassini orbiter, which will continue sending back data for many years. Cassini-Huygens was launched on Oct. 15, 1997, and arrived at Saturn in July 2004.

Aerospace Daily & Defense Report Apr 12, 2006

NASA は余分の月偵察オービタのペイロードに関して、入賞者の提案を使うかもしれない、と Horowitz は発言

NASA may use runner-up proposals for extra LRO payload, Horowitz says

RUNNERS-UP: NASA isn't ruling out eventually implementing some of its **runner-up** proposals for how to use the extra payload afforded by switching the 2008 Lunar Reconnaissance Orbiter (LRO) from a Delta II rocket to the larger Evolved Expendable Launch Vehicle, according to Scott Horowitz, associate administrator for exploration systems. Those ideas included a Jet Propulsion Laboratory impactor; a "hopper" proposed by Goddard

Space Flight Center that would land on a lighted spot at the edge of a lunar crater to charge its batteries before descending on jets into it; and a **microsatellite** proposed by Ames Research Center that would complement the LRO instrument suite. The fastpaced competition wound up choosing an Ames proposal to send two impactors into the moon's Shackleton Crater to search for evidence of lunar water (DAILY, April 11).

Aerospace Daily & Defense Report Apr 12, 2006

ベル社の ARH 武装偵察ヘリプロトタイプは 70 時間の飛行試験に達する

Bell's ARH prototype reaches 70 hours of flight testing

The prototype ARH-70A Armed Reconnaissance Helicopter (ARH) has surpassed the 70-hour mark in flight testing at manufacturer

Bell Helicopter Textron's facilities in Fort Worth, Texas. . . .

ボーイングは 4 月 26 日、2006 年第 1 四半期の経営成績を公表予定

Boeing's to unveil 2006 financial results April 26

BOEING NUMBERS: The Boeing Co. will release its first-quarter 2006 financial results at 7:30 a.m. Eastern on April 26. Executive

Vice President and Chief Financial Officer James

共和党 Bartlett 議員は全原子力の海軍、DD(X)の PMM (=Permanent Magnet Motor)を推進

Bartlett pushes for all- nuclear Navy, DD(X)'s PMM

While the U.S. Navy is emphasizing electric propulsion to improve the efficiency and operation of its surface ships and submarines,

Rep. Roscoe Bartlett (R-Md.) continues to push

ウクライナは軍用 C4 システムの飛躍的向上を計画

Ukraine plans enhancements to military C4 systems

The Ukrainian military is slated to undertake upgrades to its command, control, communications and computer systems as part

of a larger effort to bring the former-Soviet republic

空軍はグローバルホークのレーダの契約を行なう

Air Force contracts for radar for Global Hawk

RADAR HAWK: The U.S. Air Force has awarded Northrop

Grumman Corp. an \$89.3 million contract modification for radar

integration into the Global Hawk unmanned aircraft system, | the . . .

NASA は STS-1 スペースシャトルのミッション 25 周年を祝う

NASA celebrates 25th anniversary of STS-1

SPACE FIRSTS: On April 12, NASA celebrates the 25th | veteran Commander John Young and Pilot Bob Crippen . . .
anniversary of the first space shuttle mission, STS-1, when Apollo

2006 年 4 月 11 日 22:29 AstroExpo.com

Business News

[Project to strengthen Thales in Satellite and Security activities](#)

[AeroAstro Selected for DoD Space Test Program Standard Interface Vehicle Contract](#)

[Globalstar Awards Alcatel Alenia Space a Study Contract to Replace its Satellite Constellation](#)

[Boeing Awards \\$57 Million Contract to ViaSat for Mobile Satellite Ground System](#)

[Ball Aerospace Wins Space Test Satellite Contract](#)

[NASA Announces Johnson Space Center Support Contract](#)

International Space News

[Russian govt. to spend more on space in 2006 - 2015](#)

[Chinese Astronauts Training for Spacewalks](#)

[Russia Signs Contract with Space Tourist from Japan](#)

[GLONASS to be Made Available for Civilian Use in 2006 - Official](#)

Launch News

[REXUS 3 Soars to 95 Kilometres](#)

[Israeli satellite Eros B to be launched from Russia spaceport Svobodny](#)

[International Space Station Status Report: SS06-014](#)

[Sea Launch Departs Home Port for JCSAT-9 Mission](#)

Aerospace Daily & Defense Report Apr 11, 2006

NASA は月偵察オービタといっしょにピギーバックの投下衝突機(インバクタ)を送る予定

NASA sending piggyback impactors with Lunar Reconnaissance Orbiter

NASA sending piggyback impactors with Lunar Reconnaissance Orbiter NASA plans to blast the permanently dark floor of the moon's Shackleton Crater with two heavy impactors early in 2009 to test the theory that ancient water ice lies buried there.

The impactors - a 2,000-kilogram (4,409-pound) spent upper stage and a 534-kilogram (1,177-pound) Shepherding Spacecraft - will piggyback on the Lunar Reconnaissance Orbiter (LRO) mission NASA intends to launch on an Atlas V or Delta IV in October 2008. Engineers at NASA's Ames Research Center expect the spent stage to kick a plume of material from the crater bottom 30-35 miles above the lunar surface. The Shepherding Spacecraft will fly through the plume, using its infrared sensors to look down into the crater and through the plume against the cold background of space for water signatures. At the same time, ground telescopes and perhaps instruments on the LRO, Indian, Chinese and Japanese

lunar orbiters and the Hubble Space Telescope also will analyze the plume and impact crater. If they find ice, it will have a huge impact on future exploration architecture. "The guess is it's going to be tied up in some mud or dirt or something," Associate Administrator for Exploration Systems Scott Horowitz said of the potential water during a press briefing in Washington April 10. "So you're going to have to have some process. But if you could just distill the water out, of course you could drink it. It's all an integrated problem. [For example], what's your power source? Are you going to use solar-based power? Well then you're not going to have fuel cells" that generate water.

If the plume and the expected "exoatmosphere" of fine debris circling the Moon after the impact doesn't contain water, it may mean only that the impactor missed a deposit. Butler Hine, deputy program manager for NASA's Robotic Lunar Exploration Program

(RLEP) at Ames, said ice might exist in clumps that lie outside the primary impact crater, which should be about a third the size of a football field. For that reason, the Shepherding Spacecraft itself also will smash into the Shackleton Crater floor about 15 minutes after the spent upper stage, giving scientists two ground-truth data points to evaluate.

LCROSS

Dubbed the Lunar Crater Observation and Sensing Satellite (**LCROSS**), the mission was picked from among 19 proposals to use an extra 1,000 kilograms (2,204 pounds) of payload capacity the **LRO** mission gained when NASA decided to switch it from a Delta II launch vehicle to an Evolved Expendable Launch Vehicle (EELV). Horowitz said the heavy fuel load that will be required to keep the LRO at its planned 50-kilometer (31-mile) orbit raised stability problems on the smaller Delta II.

Overall the LRO mission will cost about \$600 million. Of that amount, NASA will spend about \$73 million on the **LCROSS** spacecraft, which were designed to make maximum use of existing hardware to meet the tight schedule. For example, the Shepherding Spacecraft will use the same avionics as the **LRO**, while the spacecraft structure will be a standard payload interface fitted with

the necessary power, navigation, guidance and propulsion systems. Northrop Grumman is teamed with Ames on both the avionics package and the overall spacecraft integration. As outlined by Daniel Andrews, **LCROSS** project manager at Ames, the Shepherding Spacecraft and spent stage will make two full orbits of Earth after sending **LRO** on its way to orbit the Moon, arriving at the impact point in the South Pole crater after about 90 days. In addition to infrared cameras and spectrometers, it also will carry visible-light cameras that should be able to deliver an image of the developing plume every two seconds with the communications bandwidth available, and perhaps more once the design margins are better understood.

Earlier lunar orbiters - NASA's Lunar Prospector and the Pentagon's Clementine testbed, which used the Moon to test missile defense hardware - have returned strong signatures of hydrogen from the permanently shaded regions at the bottoms of craters at both lunar poles. But just what form the hydrogen takes remains in dispute, and the objective of the **LCROSS** mission is to obtain ground truth to guide future exploration planning, Horowitz said. - Frank Moring, Jr. (moring@aviationweek.com)

Aerospace Daily & Defense Report Apr 11, 2006

国務省はボーイングに対して 2003 年の輸出違反に\$15M の罰金を課する

State Dept. fines Boeing \$15M for 2003 export violations

The U.S. State Department has imposed a \$15 million fine on Boeing to settle a violation of arms exporting restrictions that occurred more than three years ago. The violation stems from a chip that Boeing included in exported commercial aircraft between 2001 and 2003. The QRS-11 chip is part of the cockpit standby instrument system (CSIS), and it was on a restricted munitions list that required a State Department license for export. The chip has

since been taken off that list, and Boeing still uses it in CSIS equipment on exported aircraft. The agreement between Boeing and the State Department also formalizes steps already taken by Boeing to strengthen compliance with exporting restrictions. Boeing is required to hire a compliance officer for two years to make sure the company meets the terms of the State Dept. agreement. - Adrian Schofield (adrian_schofield@aviationnow.com)

Aerospace Daily & Defense Report Apr 11, 2006

ロッキードマーチンの JCSAT-9 は 4 月 12 日の打上げを目指す

Lockheed Martin's JCSAT-9 eyes April 12 launch

JCSAT READY: The JCSAT-9 telecommunications satellite, built by Lockheed Martin Corp. for JSAT Corp. of Japan, is ready for launch April 12, Lockheed Martin said April 10. Launch is scheduled for 7:30 p.m. Eastern time aboard a Sea Launch

Zenit-3SL launch vehicle. JCSAT-9 is the second of seven satellite launches planned this year for Lockheed Martin Commercial Space Systems and the first of three satellites Lockheed Martin said it will deliver to JSAT over the next two years.

Aerospace Daily & Defense Report Apr 11, 2006

ソユーズはブラジル人の ISS クルーと共に安全に帰還

Soyuz vehicle lands safely with ISS crew, Brazilian

Expedition 12 to the International Space Station returned safely to Earth April 8 after more than six months in orbit, accompanied by a Brazilian test pilot who was the first of his countrymen to travel in space.

The Soyuz vehicle carrying Russian Expedition 12 Flight Engineer Valery Tokarev and Commander William McArthur of NASA touched down in Kazakhstan at 7:48 p.m. EDT. With them was Marcos Pontes of the Brazilian air force, who rode down in the so-called "taxi seat" after traveling to the ISS with Expedition 13 from the Baikonur Cosmodrome on March 30.

NASA said all three men were in good shape after their three-hour, 20-minute ride from the station to the surface. They traveled on to

Star City, near Moscow for medical examinations, rehabilitation and debriefings.

Settling in Meanwhile Expedition 13 - Commander Pavel Vinogradov and Flight Engineer Jeff Williams - were settling in on board the space station for their sixmonth hitch. If the space shuttle Discovery flies as scheduled in July, they will be joined by German astronaut Thomas Reiter, who will bring the ISS crew up to three members for the first time since the Columbia accident forced a reduction to two as a water-saving measure.

Aerospace Daily & Defense Report Apr 11, 2006

アリアンスペースは日本の Superbird-7 を 2008 年に打上げる契約を結ぶ

Arianespace signs contract to launch Japan's Superbird-7 in 2008

Arianespace announced April 10 that it has signed a contract to launch the Superbird-7 telecommunications satellite for Japanese operator Space Communications Corporation. Built by Mitsubishi

Electric, Superbird-7 will be orbited by an Ariane 5 rocket in the first quarter of 2008.

Aerospace Daily & Defense Report Apr 11, 2006

レイセオンは\$17M の RAM(ローリング・エアフレーム・ミサイル)の製造契約を得る

Raytheon, RAM-System to provide \$17M in RAMs

RAM: Raytheon Co. said April 10 that it has won a \$17.4 million Foreign Military Sales contract for production of the Rolling

Airframe Missile (RAM) for South . . .

米空軍は第 564 ミサイル飛行大隊を解散することに

Air Force to shut down 564th missile squadron

The Air Force has decided to deactivate the 564th missile squadron at Malmstrom Air Force Base, Mont., to meet the recent

Quadrennial Defense Review (QDR) mandate to . . .

米海兵隊はファーンボローエアショーに V-22 オズブレイ 2 機を送る計画

Marines planning to send two V-22s to Farnborough Air Show

The U.S. Marine Corps plans to send two V-22 Ospreys to the Farnborough Air Show this year, according to program officials. . . .

Aerospace Daily & Defense Report Apr 10, 2006

2001, 2006 年度の国防省トップ5 プログラムのトータル計画コスト

Total Projected Cost of DOD's Top Five Programs in Fiscal Years 2001 and 2006

Billions of constant 2006 dollars

2001		2006	
Program	Cost	Program	Cost
F-22A Raptor aircraft	\$65.0	Joint Strike Fighter aircraft	\$206.3
DDG-51 class destroyer ship	\$64.4	Future Combat Systems	\$127.5
Virginia class submarine	\$62.1	Virginia class submarine	\$80.4
C-17 Globemaster airlift aircraft	\$51.1	DDG-51 class destroyer ship	\$70.4
F/A-18E/F Super Hornet fighter aircraft	\$48.2	F-22A Raptor aircraft	\$65.4
Total	\$290.8	Total	\$550.0

Aerospace Daily & Defense Report Apr 10, 2006

NASA は 2008 月偵察オービタに月表面を調べる探査機を積む予定

NASA to mount surface probe on 2008 LRO

LUNAR LANDING: NASA has decided to mount a surface probe on its 2008 Lunar Reconnaissance Orbiter (LRO) for "high-risk and high-return research of the lunar surface." The agency will announce details April 10 of its decision to send a piggyback lander into a deep crater at one of the moon's poles. The mission will attempt to find out what is generating strong hydrogen signatures detected by past orbiters in permanently dark crater bottoms there. Scientists hypothesize - and exploration managers hope - that it is water ice delivered by comets and preserved by the deep cold and

lunar dust. A decision to shift the LRO from a Delta II to an Evolved Expendable Launch Vehicle added about 1,000 kilograms (2,204 pounds) in payload, and NASA chose to insert a secondary mission rather than reopen the orbiter design. Also under consideration was a small telecommunications relay satellite to support future exploration on the moon's surface, but the discovery of water ice there would have a profound effect on surface-exploration strategy and architecture.

Aerospace Daily & Defense Report Apr 10, 2006

NASA 長官は中国旅行を熟考

NASA chief mulls China trip

CHINA TRIP: NASA Administrator Michael Griffin is considering an autumn trip to China following a renewed invitation from the China National Space Administration. Luo Ge, one of two vice administrators at CNSA, reopened his agency's invitation to the top U.S. civil-space official during an April 3 drop-in on Michael O'Brien, assistant administrator for external relations, and NASA didn't say no. "An invitation has been extended," says Dean Acosta, Griffin's press secretary. "We are certainly considering it, but no

firm dates have been set." Luo's boss, CNSA Administrator Sun Laiyan, visited Griffin's predecessor, Sean O'Keefe, at NASA headquarters in December 2004, and invited him to China. O'Keefe never made the trip. The main purpose of a Griffin visit, Luo says, would be to "let him see" China's program. The invitation comes as some Capitol Hill lawmakers warn China is racing the U.S. to the moon.

Aerospace Daily & Defense Report Apr 10, 2006

RSCC ロシア衛星通信社は故障した Express-AM11 を墓場軌道に移すと発表

RSCC telecom sat declared total loss

TOTAL LOSS: Russian Satellite Communications Co. will boost its failed Express-AM11 satellite into a graveyard orbit to prevent its destruction from making the orbital slot at 96.5 degrees East Longitude. RSCC declared AM11, a 2 kW, 30-transponder satellite launched in April 2004, a total loss. Prime contractor NPO PM

blamed an orbital debris or meteoroid impact for the failure, which knocked out the thermal control system and caused the spacecraft to veer out of control. Although some space debris experts questioned the claim,

Aerospace Daily & Defense Report Apr 10, 2006

米空軍は TacSat-2 打上げの資金をかき集める

Air Force reprogramming money to fund TacSat-2 launch

The U.S. Air Force is shifting funds from other efforts to pay for the launch of the **TacSat-2** small satellite, and hopes to have all the money in place by the end of this fiscal year, according to Undersecretary Ronald Sega.

"We do have a reprogramming activity to fully fund the launch of **TacSat-2**," Sega told lawmakers during a hearing on the Senate Armed Services Strategic Forces subcommittee in Washington April 7. The **TacSat** series is intended to demonstrate the military's ability to launch small, "responsive" satellites quickly and at low cost.

Also known as "**RoadRunner**," **TacSat-2** is a joint project being integrated by the Air Force Research Laboratory and funded as an

advanced concept technology demonstration. The spacecraft is set to include 11 experimental payloads, including a solar array, an Inter Stellar Compass from Draper Laboratory and a Target Indicator Experiment (TIE) from the Naval Research Laboratory.

TacSat-2 is expected to launch either as a secondary payload or as the sole payload on a small rocket such as Orbital Sciences' Minotaur or SpaceX's Falcon 1 (DAILY, Nov. 9, 2005). The first TacSat spacecraft, **TacSat-1**, had been slated to launch on a Falcon 1 this year, although that schedule is in question following the failure of Falcon 1 on its first flight from Kwajalein Atoll (DAILY, March 28). - Jefferson Morris (jeff_morris@AviationNow.com)

Aerospace Daily & Defense Report Apr 10, 2006

米海軍はグローバルホークを中東に送るかもしれない

Navy may send Global Hawk to Middle East

UAV ENVY: Not to be outdone by the Air Force's performance using unmanned aerial vehicles to support operations in Iraq and

Afghanistan, the Navy is considering sending ...

国防省は IT と通信システムを接続するのに支援が必要

DOD needs help connecting IT, communications systems

PENTAGON CALLING: The Pentagon still is asking industry to help the Defense Department connect its information and

communications systems, according to Air Force Gen. Lance Smith, head ...

沿岸警備隊と海軍は一時的にもう一方の戦術指令を受ける協定を結ぶ

Coast Guard, Navy to swap tactical command of assets

NATIONAL FLEET: The Coast Guard and the Navy recently signed agreements allowing both services to temporarily take

command of the other's assets, according to the vice commandant ...

海軍は秋に最初のデジタルファイヤーズ・戦闘グループを展開予定

Navy to deploy first digital-fires battle group in fall

DIGITAL FIRES: The first Navy battle group, the Iwo Jima, with digital-fires capability will deploy in the fall, the Navy says. A

mid-March test verified for the ...

マリン社は IED 即席爆弾に対抗するため Pioneer を使って大きな成功を収めつつある

Marine Corps having 'great success' using Pioneer to counter IEDs

FINDING IEDs: Marine Corps officials say the service is having "great success" using its Pioneer unmanned aerial vehicle to find

and counter improvised explosive devices (IEDs). The ...

CBO 議会予算オフィス: 3月までに防衛の支出

CBO: defense outlays up in March

DEFENSE OUTLAYS: Defense outlays grew by 6.5 percent on an adjusted basis through March relative to the same period last year,

according to the Congressional Budget Office. . . .

上院は渉外に関する防衛長官補佐のスミスを確認

Senate confirms Smith as assistant secretary of defense for public affairs

CONFIRMED: Dorrance Smith was confirmed by the Senate April 7 as assistant secretary of defense for public affairs. He is a former

ABC News producer. The vote . . .

エアロスペース安全アドバイザー・パネルは NASA の探査オフィスにおいて若干の安全への強調の緩みを証言

ASAP sees slight de-e 3 phasis of safety at NASA exploration office

Members of the Aerospace Safety Advisory Panel (ASAP) say they have witnessed a slight de-emphasis of safety within NASA's

Exploration Systems organization as it firms up plans . . .

2030 年までに米国の核備蓄を少なくする計画: エネルギー当局

Smaller U.S. nuclear stockpile planned by 2030: Energy official

The U.S. is planning to have a smaller and more efficient nuclear weapons stockpile by 2030, an Energy Department official says. . . .

DD(X)は Zumwalt と命名された: 米海軍

DD(X) named for Zumwalt; Navy accepting two providers

The U.S. Navy says the first DD(X) destroyer will be designated DDG-1000 and will be named for former chief of naval operations

Adm. Elmo "Bud" Zumwalt Jr. . . .

B-52 爆撃機の近代化は ICBM 変更の予兆に

General: B-52 modernization foreshadows ICBM changes

Modernizing the B-52 bomber fleet with additional conventional weapons and systems while cutting the total number of aircraft is

the right plan and will foreshadow changes to . . .

上院予算認可者はホワイトハウスに軍事追加予算要求の詳細提供を告げる

Senate appropriators tell White House to provide details

Senate appropriators are demanding more details from the Bush administration regarding its military supplemental spending

requests, and warn they will be less conciliatory than before. . . .

当局: 海軍の多目的航空機 MMA は 2007 半ばまでに運用試験を目指す

Officials: Navy MMA eyes op testing by mid-2007

The U.S. Navy expects to complete an internal design readiness review of its Multimission Aircraft (MMA) by May 2007, about

seven months ahead of deadline, which would . . .

ノースロップは再使用、ラピッド・ターンアラウンド打上げシステムのコンセプトを提案

... [Northrop Proposes Concepts for Reusable, Rapid-turnaround Launch System](#)

アルカテルとルーセント・テクノロジーズは合併する予定

... [Alcatel and Lucent Technologies to Merge](#)

アルカテルアレニアはグローバルスター衛星コンステレーションの置換えのスタディ契約を受注

... [Alcatel Alenia Awarded Study Contract to Replace Globalstar Satellite Constellation](#)

ロッキード-ノースロップチームはハイデータレート・レーザ・コミュニケーション・システムの重要テストマイルストーンを達成

... [Lockheed-Northrop Team Achieves Critical Test Milestone for High-Data-Rate Laser Communications System](#)

XM 衛星ラジオは 6.5M の加入者で首位に

... [XM Satellite Radio Tops 6.5-M Subscribers](#)

ボーイングは ViaSat にモバイル衛星地上システムで\$57M の契約を与える

... [Boeing Awards \\$57-M Contract to ViaSat for Mobile Satellite Ground System](#)

ボールエアロスペースは宇宙テスト衛星の契約を獲得

... [Ball Aerospace Wins Space Test Satellite Contract](#)

フランス・テレコム・モバイル・サテライト・コミュニケーションは CBB 海上サービスによる最初の販売事業者に

... [France Telecom Mobile Satellite Communications is First Sales Associate for Connexion by Boeing Maritime Service](#)

2006 年 4 月 9 日 人民網日本語版

「神舟 7 号」用ロケット製作着手 08 年打上げへ

中国キャリアロケット技術研究院によると、宇宙船「神舟 7 号」の打上げに使用されるキャリアロケットが、すでに製作段階に入った。神舟 7 号の打上げは、2008 年になる見通しという。

中央電視台(中央テレビ、CCTV)のニュース番組「新聞聯播」によると、神舟 7 号の打上げには「長征 2 号 F」キャリアロケットが使用される予定。前回打上げられた神舟 6 号に使用されたものと同型で、技術的な成熟度も高い。製作に向け、すでに使用部品の購

買や生産が始まっている。ロケット設計責任者の荊木春総設計師は「今回はさらに品質のすぐれた部品を使う。過去のロケットの飛行状況を考慮し、一部改良も行い、信頼性をさらに高めたい」と述べる。

中国の有人宇宙飛行事業は、神舟 7 号の打上げを皮切りに、第 2 段階に入る。同段階では飛行士による船外活動や、宇宙空間でのランデブー・ドッキングなどが計画されている。(編集 UM)

060403 Defense News

スパイ衛星は War on Terror との関わりを求める

インテリジェンス衛星では、携帯電話の微弱信号を捉えるのに新しい技術的手段を要する

宇宙からの偵察には限界があるものの、国家のインテリジェンス収集の致命的部分であり、多数センサを統合した構成を

とることが必要。

Spy Sats Seek Relevance in War on Terror

By MICHAEL FABEY

The U.S. National Reconnaissance Office (NRO), which turns 45 this year, is facing a midlife crisis: Cell phones, fiber optics and clever foes are neutralizing the agency's imaging- and signals-intelligence satellites.

Gathering intelligence from space is "really a matter of simple physics," said Loren Thompson, space analyst for the Lexington

Institute, Washington. "The farther away you go, the harder it is. There are just other and better ways to do it."

A satellite communications technology called spot beaming might help the NRO regain some of its fading signals-intelligence relevance, but imagery's place as an intel centerpiece may have gone with the Cold War.

"The NRO was once an intelligence or-

ganization at the beginning of the space age; now, it is a space agency in the information age," longtime CIA officer Robert Kohler wrote in the October issue of the NRO's own unclassified journal.

NRO spokesman Richard Oborn acknowledged the agency faces challenges but said the demand for the intelligence satellites remains strong.

See *SATELLITE*, page 8

SATELLITES

From Page 1

"We continue to be oversubscribed," Oborn said.

Still, even NRO "subscribers" are wondering just what they are getting from the agency that reportedly carries an annual budget of about \$7 billion.

Irrelevant Imagery?

Images, which were useful when counting Soviet tanks or measuring the size of an East German air base, aren't much help against small terrorist cells, said John Kringen, the CIA's director of intelligence.

"When you look at certain facilities, and you're trying to identify

a car or individual, and ID them as a terrorist, that's not easy," Kringen said at the March 17 annual luncheon of the Association of Former Intelligence Officers.

And people have learned to hide from orbital cameras by going indoors or underground when the satellites pass overhead. When U.S. forces ousted the Taliban from caves in Afghanistan, they found instruction manuals for avoiding imagery satellites.

These drawbacks will not be overcome by the NRO's Future Imagery Architecture (FIA), a dozen-satellite constellation intended to provide photos of unprecedented resolution in visible and infrared spectra. The \$25 billion-plus program, now set to launch around 2013, has been beset by delays and

cost overruns. Last fall, NRO officials stripped much of the work from Boeing and gave it to Lockheed Martin.

The finished FIA may not have all the capabilities once envisioned. "We're reviewing options," Oborn said.

Listening to Cell Phones

NRO's eavesdropping satellites also have been growing obsolete in a world that moves less data by microwave signals and more via cell phones and the Internet.

The Soviet Union used microwaves, whose robust waveforms carried messages through clouds and dust and far into space, where they were picked up by U.S. satellites in geosynchronous orbit. But microwaves are foghorn blasts

compared to the low-powered whispers of cell phone signals.

Listening in on a cell conversation is much harder from space, said Thompson. "It can be done, but it requires special technology. We're talking about billions of dollars, not counting the launch or daily operations," he said.

He said it might be easier to eavesdrop with unmanned aerial vehicles or other near-Earth platforms, not deep-space satellites.

Extracting the signals of interest from today's urban hubbub is largely beyond current spaceborne capabilities.

"Our current satellites were developed well before the explosion of cell phones and communications," said Jeffrey Richelson, a senior fellow at the National

Archives and author of the 2002 book, "The Wizards of Langley."

Moreover, digital encryption, once the province of military systems, is cheap and strong and commercially available.

"A growing variety of nations and groups ... are increasingly using sophisticated and rapidly changing encryption systems [requiring] a far different SIGINT effort than the one prevailing during the Cold War decades," the Congressional Research Service said in a June report, "Intelligence Issues for Congress."

There are other problems. E-mail, which travels along hidden fiber-optic lines in the ground, cannot be tapped from space, Thompson said.

Oborn said just because com-

munications technology has made it more difficult to do SIGINT does not mean the NRO can't do its job or that its satellites are losing relevance. "It's not a straight line."

Beaming Up

But advancements in transmission technology may help the NRO pick up cell calls from space.

Such mobile devices generally transmit on L-band frequencies, which were deemed too weak to bother with when the current generation of satellites was built in the early and mid-1990s.

But commercial telecom companies have developed L-band devices that can talk via space. Their satellites use a technique called spot beaming, in which the receiving antenna emits a narrow

field of energy that, in effect, gives a boost to the low-power signals it's trying to pull in.

"Our spot beams are like lasers," said D D'Ambrosio, who runs the government services arm of satellite communications provider Inmarsat.

Eavesdroppers soon will build satellites that use this technique.

"It's all a question of receiver sensitivity," said GlobalSecurity's Pike. "They have a collection plan, with different frequencies, different sensitivity, different intervals and different signals."

But Inmarsat and other industry officials say it won't be that simple. Their systems work only through special components that link the phones and satellites. Vacuuming up stray electronic signals will

prove harder and more expensive.

Such satellites will need to pack bigger antennas, more electrical generators, and more processing capability into a package still small and light enough to be lofted into orbit. Thompson said the NRO is building such a system, whose name is still classified.

Oborn hinted at obstacles overcome. "I'm not going to give away what we can do. But our ability to collect things that are of interest has increased a lot over the past few years."

Kohler said the technology is there to pick up cell phone conversations from space. "It's a question of processing," he said.

But Thompson said the cost of the new satellites is rising. The NRO's attempt to push the enve-

lope in satellite development comes as the Air Force, burned by delays and cost overruns, is generally taking a slower approach.

In October, Kohler wrote that the NRO's culture of high-tech, whatever-the-cost would prevent change or compromise. The cause of the agency's acquisition problems is "the inability of the [NRO] and the community to decide what are the priorities and the inability to kill anything," he wrote in "Recapturing What Made the NRO Great," an article for the NRO's annual, unclassified "National Reconnaissance Journal of Discipline and Practice."

In the mid-1980s, Kohler directed the flow of NRO money for CIA projects, and has since worked for Lockheed Martin and

TRW, and advised Boeing on the FIA program.

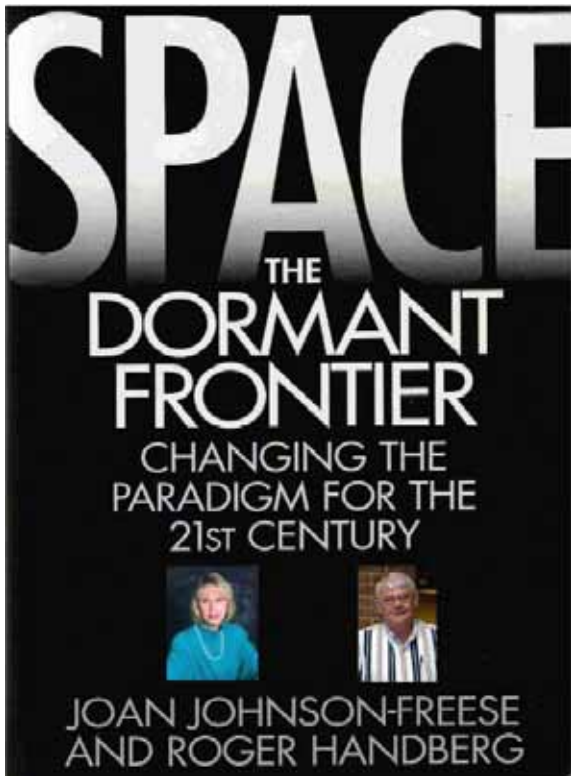
Oborn counters that the NRO has killed parts of poorly working programs. He cites the FIA contract restructuring, but said he could not provide specifics.

Oborn acknowledged that space reconnaissance has limitations, but said it remains a vital part of the nation's intel collection.

"Everyone understands that we must have an integrated structure of multiple sensors," Oborn said.

"The NRO is uniquely positioned because of its technical expertise and systems engineering skills to provide a foundation for global situation awareness. We don't do intelligence, but we enable it." ■

E-mail: mfabey@defensenews.com.



この本は 1997 年出版であるから、もう9年も前の書籍である。しかし、内容は洞察と示唆に富んだものである。

書籍についている書評をみると、

<p>Rather than examining only the civil or military side of the U.S. space program, as have many books in the past, <i>Space, The Dormant Frontier</i> takes a unique look at the space program as a whole.</p> <p>Part of the book's treatise is that the two communities must stop ignoring each other if the U.S. space program is to move forward beyond being a science project, job program, or political football.</p> <p>How the program got into its current, semi-desperate state is also examined.</p> <p>The authors include information and analysis on the military and civil space programs, challenge the perspective of the Washington Beltway analyst with vested interests in the status quo, and make policy recommendations based on realism, rather than hallucination.</p>	<p>過去の多くの本が米国宇宙計画を非軍事か軍事のいずれかの側のみを調べたのと異なり、"Space, The Dormant Frontier(宇宙、休眠中/未発達のフロンティア)は宇宙計画を全体として眺めているところがユニークである。</p> <p>この本の論考の一部は、もし米宇宙計画が「科学プロジェクト」、「仕事プロジェクト」、或いは「政治的なフットボール」の域を越えて前進するのであるなら非軍事と軍事のコミュニティは互いに相手を無視する事は止めねばならないというものである。</p> <p>どのようにして現在の半ば絶望的な状態になったのかも調べている。著者は軍事と非軍事の宇宙計画の情報と分析を載せ、ワシントン・ベルトウェイの現状の既得権をもつアナリストの見方に挑んでおり、夢物語よりはむしろ実質に立脚した政策の推奨を行なっている。</p>
---	--

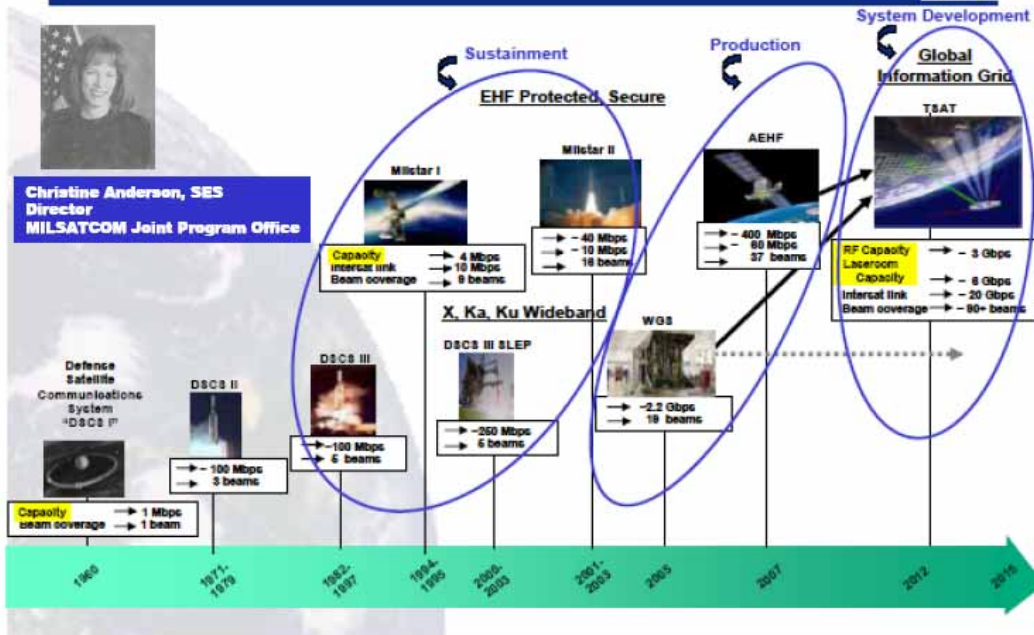
ということで、日本では、まだ軍事部分が胎内にあることから、米で指摘されたことは、将来の日本への良い指針にもなり得ると推測してもあながち間違いにはならないであろう。それに加え、本文中に、

Tatemaе, Honne, Tamamushi-agreement と言った日本独特の言い回しが使われていることも著者の博識を示して興味深い。

<http://www.californiaspaceauthority.org/images/pdfs/040831-milsatcom-anderson.pdf>

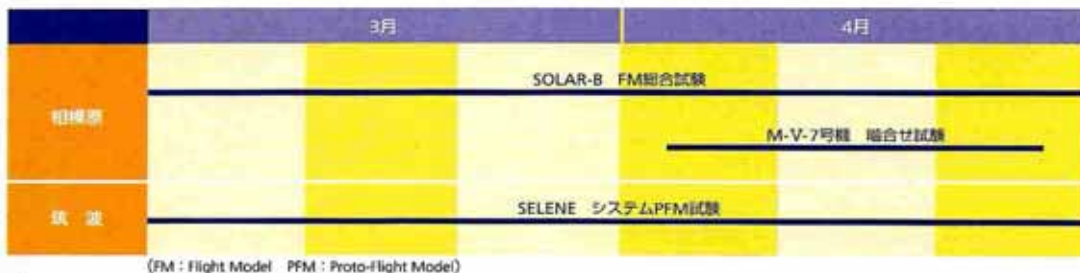


Military Satellite Communications 1960 - 2020



0603 ISAS News

ロケット・衛星関係の作業スケジュール (3月・4月)



4 ISASニュース No.300 2006.3

[国際関係・一般]

防衛庁、主力戦闘機選び F4後継に1機300億円F22有力「旧型F15含む200機更新なら安くなる」

東京新聞 06年04月14日 朝刊 27面 6段 写 1892

自民党、公明党 防衛省法案「月内提出」

東京新聞 06年04月13日 朝刊 2面 1段 1536

中国胡錦濤国家主席、18日から訪米

日本経済新聞 06年04月12日 朝刊 9面 3段 1380

胡錦濤国家主席 18日から公式訪米

フジサンケイビジネスアイ 06年04月12日 朝刊 12面 2段 1794

中国 胡錦濤国家主席訪米を発表 18日から4日間 初の公式訪問

毎日新聞 06年04月12日 朝刊 6面 2段 1249

米中間僚級協議 牛肉輸入再開 中国、米国側に配慮 人民元改革持ち越し

読売新聞 06年04月13日 朝刊 8面 4段 写表 1019

米中貿易委 市場開放など要求へ 米国側、成果疑問視の声も

朝日新聞 06年04月12日 朝刊 12面 3段 1039

イランのナジャル国防軍需相 アラブ周辺国に不可侵条約提案

日本経済新聞 06年04月12日 朝刊 8面 1段 1369

ロッキード事件をめぐる最高裁の裁判官会議録知る権利訴訟 不開示で男性敗訴確定

東京新聞 06年04月12日 朝刊 28面 1段 1698

最高裁決定 ロッキード事件 最高裁の議事録不開示は適法

日本経済新聞 06年04月12日 朝刊 42面 1段 1502

最高裁 ロッキード事件裁判官会議資料、非開示確定

毎日新聞 06年04月12日 朝刊 26面 1段 1308

新ミサイル艦8月横須賀へ 米海軍が配備

朝日新聞 06年04月08日 朝刊 4面 1段 0343

試練の大欧州(上) = 第5部 内向く経済政策 フランス「愛国主義」の壁 統合理念より国益優先

日本経済新聞 06年04月08日 朝刊 7面 5段 写 0673

英BAEシステムズ エアバス株を売却へ EADSに30億ポンド程度で 米国での買収原資に

日本経済新聞 06年04月08日 朝刊 7面 3段 0674

EADS エアバス完全子会社化へ BAEシステムズと株売買交渉

フジサンケイビジネスアイ 06年04月08日 朝刊 11面 3段 写 1074

[宇宙・航空・科学]

海外ハイテクフラッシュ = 中国の宇宙船、2008年打上げ

日経産業新聞(日経テレコン21) 06年04月13日 朝刊 10面 1段 2063

宇宙航空研究開発機構が推進チーム 月の生い立ち探る 深査ロボ開発し10年内に着陸へ

日刊工業新聞 06年04月13日 朝刊 24面 3段 0185

宇宙航空研究開発機構 10年以内に月に無人探査機 試料採取も

電波新聞 06年04月13日 朝刊 2面 1段 0225

石原慎太郎知事、航空機メーカー工場視察 台湾訪問中

毎日新聞 06年04月13日 朝刊 22面 1段 1168

石原慎太郎知事 アジア産の小型旅客機 メーカー視察手応え

産経新聞 06年04月13日 朝刊 27面 3段 写 1488

台湾訪問中、石原知事 航空機メーカー視察 ジェット共同開発視野に

読売新聞 06年04月13日 朝刊 34面 2段 写 1049

NASA 月面衝突で水確認調査 08年から新探査計画

フジサンケイビジネスアイ 06年04月12日 朝刊 27面 3段 写 1844

欧州宇宙機関 金星探査機周回軌道に 接近へ最大の難関突破

日本経済新聞 06年04月12日 朝刊 42面 2段 1501

NASA公開 カッシーニ撮影木星の南半球

東京新聞 06年04月11日 朝刊 23面 2段 写 1760

JAXA開発本格化 軽く快適次世代宇宙服 重量120キロ 3分の1生命維持装置 稼働延長

毎日新聞 06年04月12日 朝刊 20面 6段 写表 1277

宇宙航空研究開発機構 **衛星**「きらり」地上局と光通信

日経産業新聞(日経テレコン21) 06年04月14日 朝刊 8面 1段 2348

情報通信研究機構と宇宙航空研究開発機構 **衛星**と地上 レーザで通信成功 大容量伝送可能に

電気新聞 06年04月10日 朝刊 4面 3段 0136

宇宙航空研究開発機構 地上 **衛星**レーザ通信成功 世界初

読売新聞 06年04月08日 朝刊 37面 2段 0508

宇宙航空研究開発機構と情報通信研究機構 光通信実験に成功 **衛星**から地上局 世界初の快挙

日刊工業新聞 06年04月08日 朝刊 2面 2段 0009

宇宙航空研究開発機構公開 世界最大級アンテナ開く 技術試験**衛星**に搭載

毎日新聞 06年04月08日 朝刊 26面 2段 写 0608

宇宙航空研究開発機構 展開実験に成功 テニスコート大の巨大アンテナ登場

日本経済新聞 06年04月08日 朝刊 34面 2段 写 0776

チャイム=携帯電話サイズの端末による**衛星**通信の実証試験用に開発された世界最大級のアンテナの展開実験

産経新聞 06年04月08日 朝刊 31面 1段 写 0921

[宇宙利用・宇宙からの観測・宇宙環境利用・宇宙実験]

シャープ 住宅用太陽電池 耐用期間40%向上 **衛星**用セル技術応用

化学工業日報 06年04月14日 朝刊 8面 3段 写 0393

シャープの太陽電池モジュール 人工**衛星**用の技術応用 信頼性高める

電波新聞 06年04月14日 朝刊 22面 3段 写 0329

「ソ連宇宙開発の父」遺骨埋葬 ガガーリン“月面葬”計画 遺灰が地球周回宇宙葬ビジネス化

フジサンケイビジネスアイ 06年04月14日 朝刊 27面 3段 写 2016

モントレソルマーレ 米ボール・ウォッチのスペース・ウォッチ「アイオノスフィア」発売
フジサンケイビジネスアイ 06年04月14日 朝刊 17面 1段 写 1997

オークリッジ天文台 「地球外生命」専用の望遠鏡お目見え
毎日新聞 06年04月13日 朝刊 2面 1段 1095

打上げ「国外への輸送サービス」 H2A消費税免除へ
産経新聞 06年04月12日 朝刊 29面 3段 1605
衛星打上げ 消費税を免税 「貨物の輸出」で5億円減
東京新聞 06年04月12日 朝刊 3面 3段 1639

[防災・環境・資源・エネルギー・リスクマネジメント]

デル日本法人発表 防衛庁にウィニー不能パソコン5万台納入
日本経済新聞 06年04月14日 朝刊 13面 1段 1573
防衛庁がPC 5万6000台 米デル社から一括
産経新聞 06年04月14日 朝刊 3面 3段 1690
デル、防衛庁業務用PC受注 5万6000台一括調達 ウィニー対策
東京新聞 06年04月14日 朝刊 8面 3段 1831

社説 = 空の安全 掛け声だけだったのか
北海道新聞 06年04月13日 朝刊 3面 3段 2027
社説 = 空の安全 具体的な再発防止策示せ
西日本新聞 06年04月13日 朝刊 6面 3段 2244

女川原発1号機 経年化評価目で確認 立地自治体「手法おおむね理解」
河北新報 06年04月13日 朝刊 25面 3段 写 2129

プラマテルズ 蒸気方式の金型洗浄機発売 環境配慮型
化学工業日報 06年04月14日 朝刊 10面 2段 写 0414

ウトナイ湖上流 「汚濁原因は空港融雪剤」 苫小牧市 国交省に改善要請へ
北海道新聞 06年04月12日 朝刊 1面 4段 図 1748

品川の販売業者 海外で健康被害例輸入医療機器回収
東京新聞 06年04月13日 朝刊 25面 1段 1592

視点 = 開発進む介護用ロボット 安全基準づくり必要 開発者の環境改善を
日刊工業新聞 06年04月13日 朝刊 3面 3段 写 0023

電力中央研究所 千葉・我孫子 力学試験システム完成 構造物の耐震性評価

化学工業日報 06年04月11日 朝刊 11面 3段 写 0407

電力中央研究所 構造物の地震時大変形や破壊 コスト10分の1で再現数値解析と振動実験融合

日刊建設工業新聞 06年04月10日 朝刊 3面 4段 写図 0259

夏の関東 気象庁解析 ヒートアイランド現象 昼 水分蒸発できず 夜建築物が熱吸収

産経新聞 06年04月09日 朝刊 30面 4段 1271

成田で日航機 脱出シュータ操作を誤り開く

毎日新聞 06年04月09日 朝刊 30面 1段 1103

NEWSな数字 = 341件 2005年イレギュラー運航の発生件数 統計外のトラブルも頻発

日本経済新聞 06年04月09日 朝刊 29面 3段 図 1191

[技術・産業]

名古屋市工業研究所 金属薄膜の熱伝導率測定 膜厚100ナノメートル以下可能に

日刊工業新聞 06年04月14日 朝刊 27面 5段 写 0196

富士フイルムグラフィックシステムズ 紫外線照射システムの「Radiset」 電子分野向け本格展開

電波新聞 06年04月14日 朝刊 6面 3段 写 0285

デジタルテレビ特集 関連各社の製品 / 販売戦略 DXアンテナ 日本アンテナ マスプロ電工 八木アンテナ

電波新聞 06年04月14日 朝刊 17面 6段 写 0307

石川島播磨重工業 資料館オープン “情熱の軌跡” モノづくり150年紹介

日刊工業新聞 06年04月14日 朝刊 6面 2段 写 0053

東京慈恵会医科大学と日立製作所など 新手法開発 脳梗塞治療に超音波血栓溶解薬の効果向上

日本経済新聞 06年04月14日 朝刊 15面 4段 写 1577

PFU 電磁波検査を受託 医療機器向け規制で需要

日経産業新聞(日経テレコン21) 06年04月14日 朝刊 6面 2段写 2327

デンセイ・ラムダ、スイッチング電源 医療機器向け7モデル発売

化学工業日報 06年04月14日 朝刊 9面 1段 0406

進む医療機器の情報化 医療機器産業連合会が取組み状況調査

薬事日報 06年04月14日 朝刊 3面 2段 0877

杉山勝彦のハイテク最前線(4) = 実用化間近 モバイル機器向け燃料電池出番

株式新聞 06年04月14日 朝刊 4面 5段 写図 0975

放射線医学総合研究所が科学技術週間で 23日、HIMAC等を公開

原子力産業新聞 06年04月13日 朝刊 4面 2段 0555

海外ハイテクフラッシュ = 米カルフォルニア工科大学などの研究チーム 携帯サイズの血液検査機器開発

日経産業新聞(日経テレコン21) 06年04月13日 朝刊 10面 1段 2062

東邦チタニウム 北九州に新工場 インゴット生産能力2倍

日経産業新聞(日経テレコン21) 06年04月13日 朝刊 15面 2段 2101

モノづくり 支える 第3回部品大賞 = 電気・電子分野 電気・電子部品賞 テクニスコ

日刊工業新聞 06年04月12日 朝刊 10面 4段 写 0087

オムロン インレット増産 ICタグの需要増対応 年3億5000万枚へ

日刊工業新聞 06年04月12日 朝刊 10面 2段 0089

栄研化学 腸炎の原因菌検出キット発売

日経産業新聞(日経テレコン21) 06年04月12日 朝刊 14面 1段 2163

住友電工ハードメタルと不二越 エンドミル新製品発売 加工能率が3倍に

化学工業日報 06年04月12日 朝刊 8面 2段 写 0375

群馬大の小型重粒子線照射施設 日建設計を特定

建設通信新聞 06年04月12日 朝刊 4面 1段 0579

群馬大学 小型重粒子線照射施設基本設計 プロボで日建設計を特定

日刊建設工業新聞 06年04月11日 朝刊 7面 5段 0739

横河電子機器 高機能でコンパクトな中型ボックスタイプの電気式食器洗浄機発売 より清潔で経済的

日経流通新聞MJ(日経テレコン21) 06年04月12日 朝刊 13面 2段 写 2302

ハーモニック・ドライブ・システムズ 世界最小の波動歯車開発 ロボット搭載可能

日本経済新聞 06年04月12日 朝刊 15面 3段 写 1419

エフアイエス オゾンセンサ・モジュール増産 年1万台体制

日刊工業新聞 06年04月11日 朝刊 10面 4段 0085

島根県産技センタと信州大 最高水準の複合材開発 熱伝導率銅の2倍

日刊工業新聞 06年04月11日 朝刊 37面 3段 写 0197

島根県産業技術センタ 電子機器冷却用新複合材料を開発 世界最高水準の熱伝導率

フジサンケイビジネスアイ 06年04月11日 朝刊 8面 4段 図 1824

サーミスタの国内生産伸びる 電子機器の高信頼性、安全性へ 温度検知など市場拡大

電波新聞 06年04月11日 朝刊 5面 4段 図 0268

住宅大手と初の共催 四国電力高松支店が電化展32社出展 IH体験や無料相談実施

電気新聞 06年04月11日 朝刊 7面 5段 写 0459

ダンロップファルケンタイヤ ENASAVE 店舗用ツールもリサイクル素材

日刊自動車新聞 06年04月11日 朝刊 3面 1段 0483

日本自動車連盟 東京モータサイクルショーに出展

日刊自動車新聞 06年04月11日 朝刊 16面 1段 写 0515

テクノ菱和 防爆型無発塵イオナイザ開発 微弱X線で静電気除電 安全性高く歩留り向上

建設通信新聞 06年04月11日 朝刊 2面 4段 写 0642

コーウェア ソフト開発者向けの新製品発表 仮想化技術を採用 SoC開発の生産性向上

日本情報産業新聞 06年04月10日 朝刊 5面 2段 0616

リアクション・デザイン・ジャパン 化学反応解析ソフト最新バージョン発売 粒子の生成・表面成長予測

化学工業日報 06年04月10日 朝刊 9面 4段 0066

NEC スパコンをJAISTに導入

化学工業日報 06年04月10日 朝刊 9面 1段 0067

新潟大がTLOに出資 国立大で初「技術移転」筆頭株主に

読売新聞 06年04月09日 朝刊 17面 3段 1037

北海道電力など4社 北大病院に研究部門 放射線医療技術を向上

日刊工業新聞 06年04月08日 朝刊 5面 2段 0038

[通信・放送・IT・セキュリティ]

JCSAT-9の打上げ成功 国際通信用Cバンド搭載

電波新聞 06年04月14日 朝刊 2面 1段 0248

ウィルコム 次世代PHSシステム 実験免許を申請

日経産業新聞(日経テレコン21) 06年04月14日 朝刊 6面 3段 2324

四国総合通信局 11の捜査機関に感謝状 不法無線局の取締りに功績

電波新聞 06年04月14日 朝刊 19面 2段 写 0311

NTTドコモ東海 FOMA契約mova上回る

電波新聞 06年04月14日 朝刊 21面 1段 表 0326

放送改革 NHKを考える(中) = オフィスN代表 西正氏 受信料集金制度に疑問

読売新聞 06年04月13日 朝刊 8面 5段 写 1017

放送改革 NHKを考える(上) = 民放連会長 広瀬道貞氏 経営委に責任持たせよ

読売新聞 06年04月12日 朝刊 8面 5段 写 1144

通信・放送懇どうみる 民放連会長 広瀬道貞氏 スカイパーフェクト・コミュニケーションズ社長 重村一氏

日経産業新聞(日経テレコン21) 06年04月13日 朝刊 2面 3段 写 2004

デジタル時評 = ITで快適になる空の旅 日本も新技術の導入を

日経産業新聞(日経テレコン21) 06年04月13日 朝刊 3面 3段 写 2013

NTT 鉱山採掘の制御システム開発 チリ社と合弁会社設立 機材を遠隔操作

日経産業新聞(日経テレコン21) 06年04月12日 朝刊 15面 2段 2172

NTTドコモ中国 第三世代携帯用の移動基地局車導入

中国新聞 06年04月11日 朝刊 10面 1段 写 2011

米IBM 暗号セキュリティ技術開発 MPUに組み込み可能

電波新聞 06年04月12日 朝刊 3面 3段 0233

ホームセキュリティ特集 ホームセキュリティ機器 各社の主力機器 / 販売戦略 松下電器 DXアンテナ他

電波新聞 06年04月12日 朝刊 16面 6段 写 0283

証券保管振替機構と証券界 株券電子化 09年1月開始で合意 すべての上場株対象

フジサンケイビジネスアイ 06年04月12日 朝刊 4面 4段 1733

証券保管振替機構 「09年1月めどに」 株券電子化前倒しも

毎日新聞 06年04月12日 朝刊 9面 2段 1270

日銀手形買いオペ 6月末メド電子化

日本経済新聞 06年04月12日 朝刊 18面 2段 1455

独シーメンス 米国で携帯電話サービス 低コストでトリプルプレイサービス実現

電波新聞 06年04月11日 朝刊 3面 2段 0255

M & A 新展開(7) = “激震”通信・放送業界 コンテンツが“主戦場”へ

株式新聞 06年04月11日 朝刊 1面 4段 写 0902

NEC HSDPA網の構築 ハチソン香港から受注

電経新聞 06年04月10日 朝刊 2面 3段 0560

携帯電話で新幹線予約人気 JR 飛行機と対抗、顧客を囲い込み

産経新聞 06年04月09日 朝刊 4面 5段 表 1226

[経営・人]

正論 = 防衛大学校名誉教授 佐瀬昌盛 NATOとの連携を本格検討せよ

産経新聞 06年04月14日 朝刊 15面 5段 写 1749

インタビュー = 商船三井常務執行役員 鏡敏弘氏 船舶管理新体制スタート 船種ごとにきめ細かく管理

日本海事新聞 06年04月14日 朝刊 1面 7段 写 函 0941

デサント「アンプロ」英国異業種6社と販促 今期50億円めざす

織研新聞 06年04月14日 朝刊 5面 2段 0780

視点 = 買収防衛に動く国内鉄鋼メーカ 蘭ミタル・スチール主導、再編加速

日刊工業新聞 06年04月14日 朝刊 3面 3段 写 0023

航空機関連再評価 05年民間機受注17年ぶり高水準 ナブテスコなど妙味

株式新聞 06年04月14日 朝刊 1面 7段 写 函 0953

ニューフェース = 平河ヒューテック 5月2日東証2部上場 電線、ケーブルなど製販

株式新聞 06年04月14日 朝刊 3面 3段 写 表 0972

株式往来 = ハイテックけん引で反発 4日ぶり、目先は調整続く

日本経済新聞 06年04月14日 朝刊 19面 3段 函 1610

21世紀の気鋭 = 東京大学大学院工学系研究科助教授 山口猛央氏 バイオ燃料電池 細胞膜技術で性能向上

日経産業新聞(日経テレコン21) 06年04月13日 朝刊 10面 4段 写 2055

米アルコア 2006年第1・四半期決算 1~3月期純利益 過去最高、6億800万ドル

鉄鋼新聞 06年04月12日 朝刊 6面 3段 0544

アルミ圧延業の収益拡大戦略(3) = 大手6社営業トップに聞く 宮下進 古河スカイ専務

鉄鋼新聞 06年04月13日 朝刊 4面 5段 写 0510

新社長 = 古河スカイ 吉原正照氏 新中計を着実に遂行

日刊工業新聞 06年04月11日 朝刊 12面 3段 写 0104

M & A新展開(9) = 登場新会社法(下) 買収防衛策多様化(おわり)

株式新聞 06年04月13日 朝刊 1面 3段 表 0791

大手銀が採用活動多様化 三井住友銀 1割毎月選考 住友信託銀 インターン制 みずほは金融コース

フジサンケイビジネスアイ 06年04月13日 朝刊 5面 4段 1643

注目株 = アドバネクス 業績回復 携帯、航空機向け急成長

株式新聞 06年04月12日 朝刊 1面 3段 図 0893

トレンド先読み 中国絡みで再燃? 航空機関連に関心

株式新聞 06年04月12日 朝刊 2面 2段 0899

イズミヤが買収防衛策 会社法先取り 新株予約権に毒薬条項

日刊工業新聞 06年04月12日 朝刊 31面 3段 0202

イズミヤが買収防衛策 無償割り当て会社法先取り

日本経済新聞 06年04月12日 朝刊 16面 3段 1433

この人 = 国立天文台の台長に今月から就任した観山正見さん 若い人が自由に活躍できるようにしたい

東京新聞 06年04月12日 朝刊 3面 2段 写 1641

顔 = 国立天文台の新台長になった僧侶 観山正見さん 「世界の英知集めて謎解きを」

読売新聞 06年04月12日 朝刊 2面 3段 写 1113

西久保慎一スカイマークエアラインズ社長参考人招致 「健全経営譲れぬ」 赤字路線撤退 国交相ら批判に

毎日新聞 06年04月12日 朝刊 8面 3段 表 1257

トップの戦略 = スターフライヤー社長 堀高明さん 便利さコンピニ級 運航、早朝から深夜まで

日経流通新聞M(日経テレコン21) 06年04月09日 朝刊 3面6段 写図 0416

買収防衛策 取締役会判断なら反対 企業年金連合会方針経営陣の保身防ぐ

日本経済新聞 06年04月08日 朝刊 1面 4段 0624

君たちへ = 世界一周堂社長 角田直樹さん 考えるより行動 / 自分を追込む

フジサンケイビジネスアイ 06年04月08日 朝刊 22面 4段 写 1094

タビックスジャパン 国内増売へ視界は良好 インタビュー 古川敬氏 山田茂則氏

週刊観光経済新聞 06年04月08日 朝刊 7面 7段 写 0178

[航空輸送・エアライン]

スカイマークエアラインズ 羽田 - 徳島線撤退 路線再編視界晴れず 採算悪化、続くトラブル

産経新聞 06年04月14日 朝刊 8面 5段 写 1719

シンガポール航空がボーナスに成果主義

日経産業新聞(日経テレコン21) 06年04月14日 朝刊 4面 2段 2315

三菱重工業下関造船所 旅客機部品 主翼骨格材工場が完成 ボーイング向け製造

中国新聞 06年04月13日 朝刊 11面 4段 写 2214

三菱重工 次世代機「787」主翼材製造 下関の工場が完成

西日本新聞 06年04月13日 朝刊 9面 3段 2262

三菱重工業 旅客機「787」向け部品工場完成

日刊工業新聞 06年04月13日 朝刊 5面 1段 0044

三菱重工業 「787」主翼補強部品工場竣工

フジサンケイビジネスアイ 06年04月13日 朝刊 9面 1段 1667

国土交通省 日本・シンガポール便増加

日本経済新聞 06年04月13日 朝刊 5面 1段 1230

カンタス航空 子会社を再編 新千歳線は存続

北海道新聞 06年04月12日 朝刊 11面 2段 1788

関西空港発着 オーストラリアへの格安航空便、来年3月から就航

中国新聞 06年04月12日 朝刊 7面 1段 1913

ジェットスター航空 関西空港発着のオーストラリア便 格安で来春就航

北海道新聞 06年04月12日 朝刊 11面 1段 1789

豪ジェットスター関西乗り入れへ 低運賃競争に拍車

フジサンケイビジネスアイ 06年04月12日 朝刊 27面 3段 1843

カンタス航空グループ再編 オーストラリア航空7月廃止

中日新聞 06年04月12日 朝刊 10面 1段 1890

カンタス航空子会社、来春から 格安航空、日本乗り入れ

西日本新聞 06年04月12日 朝刊 8面 3段 1963

カンタス航空、格安で日本攻略 シドニー - 関西、子会社活用 日航の撤退にらむ マイレージは相乗り視野

日経産業新聞(日経テレコン21) 06年04月12日 朝刊 24面 5段 写表 2235

豪カンタス子会社 関西に初の国際格安便 来春から

産経新聞 06年04月12日 朝刊 11面 3段 1577

スイス航空 JALとの共同運航解消 国際航空連合ライバル同士 9月にも

フジサンケイビジネスアイ 06年04月12日 朝刊 8面 4段 1753

スターフライヤー 日中の搭乗率80%上回る

日経流通新聞M(日経テレコン21) 06年04月12日 朝刊 9面 1段 2290

スターフライヤー 日中帯の運航便3月搭乗率8割

日経産業新聞(日経テレコン21) 06年04月11日 朝刊 24面 1段 2043

スターフライヤー 搭乗率74% 3月「予想以上の数字」

西日本新聞 06年04月07日 朝刊 9面 3段 1327

スターアライアンス 18社に W杯顧客照準 南アフリカ航空が加盟

フジサンケイビジネスアイ 06年04月11日 朝刊 1面 2段 1786

中部空港、増便狙い布石 航空貨物の利用促す 関西・関東の荷主へ営業攻勢

日経産業新聞(日経テレコン21) 06年04月11日 朝刊 24面 3段 2037

豪オズジェット 全部ビジネス席 3カ月余で中止 利便劣り乗客3人の便も

西日本新聞 06年04月09日 朝刊 9面 2段 1460

台湾 エバー航空 北海道内容増狙い札幌支店開設

北海道新聞 06年04月08日 朝刊 11面 1段 0717

日航 中国南方航空と貨物を共同運航

日本経済新聞 06年04月08日 朝刊 10面 2段 0696

日航に対抗 エア・ドゥ 新千歳 - 羽田 6月特割 再値下げ 最大2500円

北海道新聞 06年04月07日 朝刊 3面 4段 表 1112

[\[民間航空機関連 \(ex-SJAC 三輪さん\)\]](#)

2006年4月14日 23:54 AIA dailyLead April 14, 2006 -

「人生はランプに似ている。手許のカードは決定的なのに、勝負のし方は自由意志でということである。」

ネール インド初代大統領

"Life is like a game of cards. The hand that is dealt you represents determinism; the way you play it is free will."

--Jawaharlal Nehru, first prime minister of India

2006年4月14日 0:43 AIA dailyLead April 13, 2006 -

「誰のスコアも5打減らせる秘密が私にはある。それは、消しゴムである。」

アーノルド パーマー

"I have a tip that can take five strokes off anyone's golf game. It is called an eraser."

--Arnold Palmer, golf legend

2006年4月13日 1:03 AIA dailyLead April 12, 2006 -

「経験とは、誰もがする失敗に対して与えられる名称である。」

オスカー・ワイルド アイルランド生まれ作家

" Experience is the name everyone gives to their mistakes."

--Oscar Wilde,Anglo-Irish writer

2006年4月12日 2:00 AIA dailyLead April 11, 2006 -

「変革の意思こそ強さである。たとえしばらくの間は会社の一部を全体的混乱にもたらしめてもである。」

ジャック ウェルチ 元GE社 CEO

"Willingness to change is a strength, even if it means plunging part of the company into total confusion for a while."

--Jack Welch, former CEO of General Electric

2006年4月11日 2:20 AIA dailyLead April 10, 2006 -

失敗する事は辛い、成功に向けて努力しない事はもっと悪い。

セオドール ルーズベルト大統領

"It is hard to fail, but it is worse never to have tried to succeed."

--Theodore Roosevelt, 26th president of the U.S.

2006年4月14日 23:54 AIA dailyLead April 14, 2006 -

ボーイング、ロシアのチタン鉱業社と合併事業

Boeing forms venture with titanium miner

Boeing and Russian titanium miner **VSMPO-Avisma** have agreed to form a joint venture. Boeing says it needs additional titanium to supply increased

production of jetliners. [Chicago Tribune/Bloomberg](#) (4/14)

747 - 8型旅客用に2航空会社が検討中

Two carriers consider passenger 747-8

Lufthansa and **Singapore Airlines** are considering purchasing the passenger version of **Boeing's** planned 747-8. Boeing has not yet secured a

customer for the passenger model of the plane. [Seattle Post-Intelligencer](#) (4/14)

FAA 長官:管制官組合は安全面での最新技術採用より賃金アップを優先していると論評

Opinion: FAA contract offer allows for safety technology

The union representing air-traffic controllers would prefer higher salaries to new safety equipment, FAA Administrator Marion Blakey writes in this

commentary. Blakey said the FAA's recent contract proposal would have allowed it to more quickly introduce new safety technology. [Chicago Tribune](#)

GE 社インフラ部は空港装置近代化事業に参入

General Electric set to move into airport development

General Electric plans to expand into airport development. The company's infrastructure business

may provide power generation to support airport acquisitions in emerging markets. [MSNBC](#)

デルタ航空、パイロット組合と妥結

Delta, pilots union reach tentative pact, union says

Delta Air Lines and its pilots union have reached a tentative agreement, according to the union. Details were not disclosed, and the agreement still needs

ratification from the company's rank-and-file pilots. [USA TODAY/Associated Press](#) (4/14)

2006年4月14日 0:43 AIA dailyLead April 13, 2006 -

ボーイング 中国からの受注増加を期待

Boeing hopes to increase China orders

Boeing hopes to book 20 more orders for jetliners from China this year. The additional sales would help Boeing maintain its lead over European rival **Airbus**. "Asia, especially China, is the most vital market for

Boeing and Airbus as there is only limited demand growth on other continents," said Ella Li, an analyst with Shenyin & Wanguo Securities Co. in Shanghai. [Seattle Post-Intelligencer/Bloomberg](#) (4/13)

スターアライアンス加盟会社が787の統一型仕様を

Star Alliance members seek customized 787

Members of the Star Alliance are customizing specifications for **Boeing's** 787 jetliner. Specifications

range from seat pitch to cockpit configuration. [Air Transport World](#) (4/13)

デルタ航空のパイロット組合ストが予想される中、乗客が予約を敬遠

Some travelers book away from Delta

Some travelers are not booking tickets on **Delta Air Lines** because they believe the carrier's pilots may strike. The company and pilots are negotiating contract concessions, and some experts believe they will reach an agreement and avoid a strike. Members

of the pilots union picketed Wednesday at the company's corporate offices. [Journal and Constitution \(Atlanta\)](#) (4/13), [Journal and Constitution \(Atlanta\)](#) (4/12), [The Street.com](#) (4/13), [The Cincinnati Enquirer/Associated Press](#) (4/13)

2006年4月13日 1:03 AIA dailyLead April 12, 2006 -

787はグローバル製品である

Boeing's 787 reflects globalization

Boeing says its new 787 jetliner is an American product and a global product at the same time. Companies in Japan, France, the U.K. and the U.S. will build parts for the plane, which will join commercial fleets in 2008. **Lockheed Martin** and other defense and aerospace firms are also looking for overseas partners for projects. [The Washington Times](#) (4/12)



Boeing 787 Dreamliner.

Source: Boeing

ボーイングの強さ中国でも証明

Order demonstrates Boeing's strength in China

A large order booked this week indicates **Boeing** continues to compete successfully in China. Rival jetmaker Airbus has boosted its market share in

China since the mid-1990s. [The New York Times/Reuters](#) (4/11), [The Seattle Times](#) (4/12), [Chicago Tribune/Bloomberg](#) (4/12)

ATAによると、燃料費の高騰で、エアラインの復活が足踏み

Soaring fuel prices slow airlines' recovery

The rising price of jet fuel is stalling the recovery of the airline industry, according to the Air Transport

Association. The price of benchmark crude averaged \$63.27 in the first quarter, up 27% over the same

period in 2005. [Air Transport World](#) (4/12), [The Washington Times](#) (4/12), [The Street.com](#)

(4/11), [USAirportNews.com](#) (4/12), [Chicago Tribune](#) (4/12), [St. Petersburg Times \(Fla.\)](#) (4/12)

航空運賃が上昇。需要が上向き供給キャパが限定的のため

Demand, curtailed capacity may push fares higher

Experts predict airline fares will climb as demand for travel increases and carriers resist adding more capacity. Airlines have more control over prices,

which eventually could help them return to financial stability. [USA TODAY](#) (4/12)

2006年4月12日 2:00 AIA dailyLead April 11, 2006 -

中国 ボーイング機(737)を80機購入の見込み

Chinese carriers expected to book Boeing order

Chinese airlines are expected to order 80 737 jetliners from **Boeing**. China Eastern Airlines has already booked an order worth \$924 million for 16

737 planes. [Air Transport World](#) (4/11), [Seattle Post-Intelligencer/Bloomberg](#) (4/11), [The Seattle Times](#) (4/11)

エアバス親会社 (EADS)の株 2.25%をフランス銀行(国営)が購入

French bank will buy 2.25% stake in Airbus parent

A French bank will acquire a 2.25% stake in Airbus parent **EADS**. The state-owned bank will buy shares from French media group Lagardere; the transaction

also allows the French government to take more control of EADS. [The Wall Street Journal](#) (4/11)

FAA 新提案で管制官の大量退職が心配される

Some controllers expect wave of retirements under FAA offer

Some air-traffic controllers are predicting a large wave of retirements if the Federal Aviation Administration's contract proposal is adopted. The FAA has asked Congress to settle the contract dispute.

Other controllers fear the dispute could lead to understaffing. [Seattle Weekly](#) (4/11), [Orlando Sentinel \(Fla.\)](#) (4/11)

2006年4月11日 2:20 AIA dailyLead April 10, 2006 -

ロッキードの労働組合交渉妥結

Lockheed workers ratify contract

Lockheed Martin Aeronautics workers approved the company's contract offer, which includes higher

wages. Lockheed says it is pleased the workers ratified the contract. [The Dallas Morning News](#) (4/10)

ボーイング社 禁輸出違反 罰金支払いに応じる

Boeing agrees to fine in export dispute

Boeing has agreed to pay a \$15 million fine related to the sale of commercial airplanes equipped with a chip that has military applications. Boeing also agreed to oversight requirements and has taken steps to

prevent further violations of the Arms Control Export Act, which regulates the sale of defense products to other countries. "There is a greater awareness of what the regulations are," a Boeing spokesman

said. [The Seattle Times](#) (4/8), [Los Angeles Times/Associated Press](#) (4/10), [The Street.com](#)

(4/9), [Reuters](#) (4/9)

EADS 社 株受けによりエアバス経営が簡明にあると

EADS purchase of shares will simplify Airbus

The decision by [BAE Systems](#) to sell its 20% share in Airbus to [EADS](#) will enable EADS to create a simpler structure. "We welcome the opportunity to increase our stake in Airbus, which holds the potential of simplifying Airbus governance," EADS

said. "We were anticipating the possibility of such a move and are fully prepared to move ahead constructively." EADS already holds the remaining 80%. [Flight International](#) (4/10)

エアバス A350 の仕様をめぐり顧客筋と検討の用意

Airbus will discuss A350 with customers:

European jetmaker [Airbus](#) wants to discuss possible changes to its A350 with customers. Some airlines and leasing firms have said the A350 is not

competitive enough with the [Boeing](#) 787. [The Wall Street Journal](#) (4/9), [The Washington Post/Reuters](#) (4/10)

中国 飛行禁止空域の解放で新ルートが開かれるか

China will open route through restricted airspace

China's decision to open a corridor through restricted airspace could save carriers a total of \$30 million a year in fuel expenses, the International Air Transport

Association said. The new route will also reduce travel times between Europe and China by about half an hour. [The Wall Street Journal](#) (4/10)